



旭ヶ丘小だより

令和7年11月28日発行 No.13

明 朗
【あかるく】

誠 実
【さわやかに】

友 情
【ひとりひとりをたいせつに】



11月27日に行われた持久走大会では、お忙しい中、たくさんの保護者の方に応援をいただき、誠にありがとうございました。保護者の方々の声援が、子どもたちにとって大きな力になったと思います。同時に、旭ヶ丘小学校の学校行事がたくさんの保護者の方々、そして地域の方々に温かなご理解をいただいていることを感じ、うれしく思います。また、朝早くから子どもたちの走路の安全のため、たくさんのPTAの方が立哨等に駆けつけていただきました。心から感謝申し上げます。子どもたちの健やかな学びを行うためには、学校だけでなく保護者の方、そして地域の方のお力が必要なことを改めて感じました。今後も旭ヶ丘小学校の教育活動に、ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。今回は、サンライズフェスティバルと持久走大会についてです。

サンライズフェスティバル

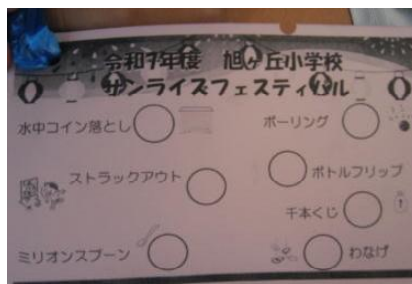


14時前です。どの子もニコニコして待っていました。

11月15日（土）の14時からサンライズフェスティバルがPTA主催で行われました。2時間目の授業参観終了後、準備をしていただき、たくさんの場所がワクワクするコーナーになっていきました。開始前、正門前には子どもたちの長い行列が。どの子もワクワクしながら並んでいました。こんな素敵な時間をつくっていただき、PTAの皆様、本当にありがとうございました。



どのコーナーでも子どもたちは楽しんでいました。



サンライズフェスティバルは大盛況で終了しました。けれど、そのすぐ後に本校の課題が現れました。それは「ゴミ」です。運動場スタンドには多くの景品の袋が捨てられていました。さらにどんぐり公園（2号公園）でもサンライズフェスティバルの景品の袋やスタンプカード等がたくさん捨てられていました。とても残念な思いになりましたが、一方で胸が熱くなることもありました。それは、どんぐり公園に捨てられている物を何とかしたいという思いで学校へゴミ袋をもらいに来た子たちがいたことでした。その後、教員とともに拾い集めてくれました。このことを、学校全体で考えていきたいという思いから、休み明けの火曜日、体育館に全校児童を集めて、サンライズフェスティバル後に起こったことを旭小のみんなに話しました。みんなのためにサンライズを開催してくれたPTAの方（お家の方）の思い、ゴミのポイ捨てはどれほど迷惑なことなのか、そして捨てた子も拾ってくれた子も旭小の子という事実。「捨てる人ではなく拾う人になってほしい」と語りかけました。話の後、何人かの子が「自分のものかもしれない」と言いに来てくれました。数日後、別の公園で捨てられていたサンライズの景品を拾って持ってきてくれた子もいました。今回の件を自分のこととして受け止めてくれてうれしく思いました。このような話は、今後も根気強くしていかなければならないと考えています。そして少しずつでもいいので旭小のみんなが、「人の思いを大切にする」気持ちをより大きくしてほしいと思います。

頑張った！ 持久走大会！！

6年生男子スタート！



晴天に恵まれ、どの学年も気持ちいいスタートを切ることができました。ゴールの時もみんな一生懸命な表情でした。走り切った後、「気持ちいい！」と思えたかな？



6年生女子スタート！



1年生も元気いっぱいスタートでした！